射水市内遺跡発掘調査一覧

— 平成17・18年度 —

2008年

富山県射水市教育委員会

例　言

1．本書は、富山県射水市内において平成17・18年度に実施した埋蔵文化財発掘調査一覧である。
2．調査事務局は平成17年10月末までは新湊市、射水郡小杉町、大門町、大島町、下村の各教育委員会、市町村合併後の11月以降は射水市教育委員会文化課に置かれた。現地調査は文化財係の係長原田義範・主任稲垣尚美・主任田中明・主任金三津英則が担当した。
3．遺物整理の従事者は次のとおりである。
金瀬ますみ・吉島正喜・高瀬直子・開一美・堀埜実津子・吉沢泰子
4．発掘調査に係る遺物・図面・写真等の資料は、すべて射水市教育委員会で一括保管している。
5．本書の執筆・編集は、田中・金三津が担当した。

凡　例

1．本文中における発掘地区図版の試掘トレンチ脇の記号は、遺物の出土位置を示し種類は下記のとおりである。
●：縄文土器　□：弥生土器　▽：土師器　▲：須恵器　■：珠洲　⊠：中世土師器
○：中世陶磁器　⊗：近世陶磁器　◎：木製品　◆：石製品　★：金属製品　◇：鉄滓
☆：その他（近代以降）　T：トレンチ
2．調査位置図の縮尺は１／10,000、遺物実測図の縮尺は土器の１／４を基本とし、縮尺の異なる遺物についてはそれぞれのスケールとともにその縮尺を表記した。
3．本書で用いた土層の色調は、小山正忠・竹原秀雄編著『新版標準土色帖』に準拠している。

目　次

1．平成17年度埋蔵文化財発掘調査一覧 …… 1
2．平成18年度埋蔵文化財発掘調査一覧 …… 2
3．試掘調査概要 …… 4

平成17年度

1．津幡江西遺跡 …… 4
2．太閤山温泉遺跡 …… 4
3．針原西遺跡 …… 5
4．黒河西山遺跡 …… 6
5．中山北Ｂ遺跡 …… 6

平成18年度

6．高島Ａ遺跡 …… 7
7．本田天水遺跡 …… 8
8．黒河尺目西遺跡 …… 8
9．南高木Ｂ遺跡 …… 9
10．二口油免遺跡 …… 9
11．赤田Ⅰ遺跡 …… 10
12．加茂社遺跡 …… 10
13．放生津城跡 …… 11
14．本江畑田Ⅱ遺跡 …… 11
15．二口遺跡 …… 12
16．本江東遺跡 …… 12
17．愛宕遺跡 …… 13

1．平成17年度埋蔵文化財発掘調査一覧

試掘調査

No.	遺跡名	所在地	原因	調査期間	対象面積	発掘面積	種別	検出遺構	出土遺物	開発への対応
1	津幡江西 211045 (203049)	殿村425外	駐車場造成	H17.9.26～28	9,000.0㎡	634.0㎡	散布地	溝・土坑	弥生土器・中世珠洲	支障なし
2	太閤山温泉 211091 (381031)	黒河二十石 5424	温泉保養 施設建設	H17.12.16～27	11,913.7㎡	66.4㎡	古墳	溝・土坑	縄文土器・弥生土器	1,500㎡の本発掘 調査必要
3	針原西 211090 (381030)	戸破字明神 509外	県道建設	H18.3.9～16	22,000.0㎡	1,060.0㎡	散布地	溝・土坑	縄文土器・弥生土器 古墳土師器・古代須恵器 古代鉄滓・中世珠洲 中世青磁・中世土師器 近世越中瀬戸・近世伊万里 近世銅銭	2,570㎡の本発掘 調査必要
4	黒河西山 211101 (381041)	黒河新4792外	市道建設	H17.8.3～8 H18.3.27	1,100.0㎡	153.8㎡	散布地 生産遺跡	焼壁土坑 ピット		支障なし
5	中山北B 211094 (381034)	戸破字加茂 1585－1	宅地造成	H18.3.30	780.0㎡	36.8㎡	散布地		古代土師器・古代須恵器 近代小杉焼	支障なし
計	5遺跡5件		対象面積　44,793.7㎡　　発掘面積　1,951㎡							

本発掘調査

No.	遺跡名	所在地	原因	調査期間	発掘面積	種別	検出遺構	出土遺物
1	赤田Ⅰ 211361 (381301)	一条11番15	個人専用 住宅建築	H17.5.6～26	130㎡	集落 祭祀	古墳溝・古代溝 古代土坑・近世溝 近世井戸	古墳土師器・古代土師器・古代須恵器 中世珠洲・近世越中瀬戸
2		一条12番15		H17.5.10～6.1	143㎡		古代溝	古代土師器・古代須恵器・中世珠洲
3		一条10番6		H17.10.26～11.9	90㎡		古代溝・古代土坑	古代須恵器
4		一条10番4		H17.11.8～12.2	79㎡		古代溝・古代土坑	古代土師器・古代須恵器・近世越中瀬戸
5	本江畑田Ⅰ 211411 (382057)	あおば台1－21	個人専用 住宅建築	H17.6.15～7.9	116㎡	集落	弥生溝・弥生土坑 不明溝・不明土坑	弥生土器
6		あおば台1－20		H17.6.15～7.9	84㎡		弥生溝・弥生土坑 不明溝・不明土坑	弥生土器・古代須恵器
7		あおば台1－22		H17.7.13～22	69㎡		弥生溝・弥生土坑 不明溝・不明土坑	弥生土器
8		あおば台1－12		H17.11.18 ～12.13	49㎡		弥生溝・弥生土坑 古代溝・不明土坑	弥生土器・古代須恵器・磨製石斧
9		あおば台1－13		H17.11.18 ～12.15	48㎡		弥生溝・弥生土坑 古代溝・不明溝 不明土坑	弥生土器・古代土師器・古代須恵器 古代鉄滓
10		あおば台1－43		H17.12.2～22	66㎡		不明土坑	
計	2遺跡10件		発掘面積　874㎡					

※遺跡名欄の（　）内の数字は合併前の富山県埋蔵文化財包蔵地地図の遺跡番号を示す。

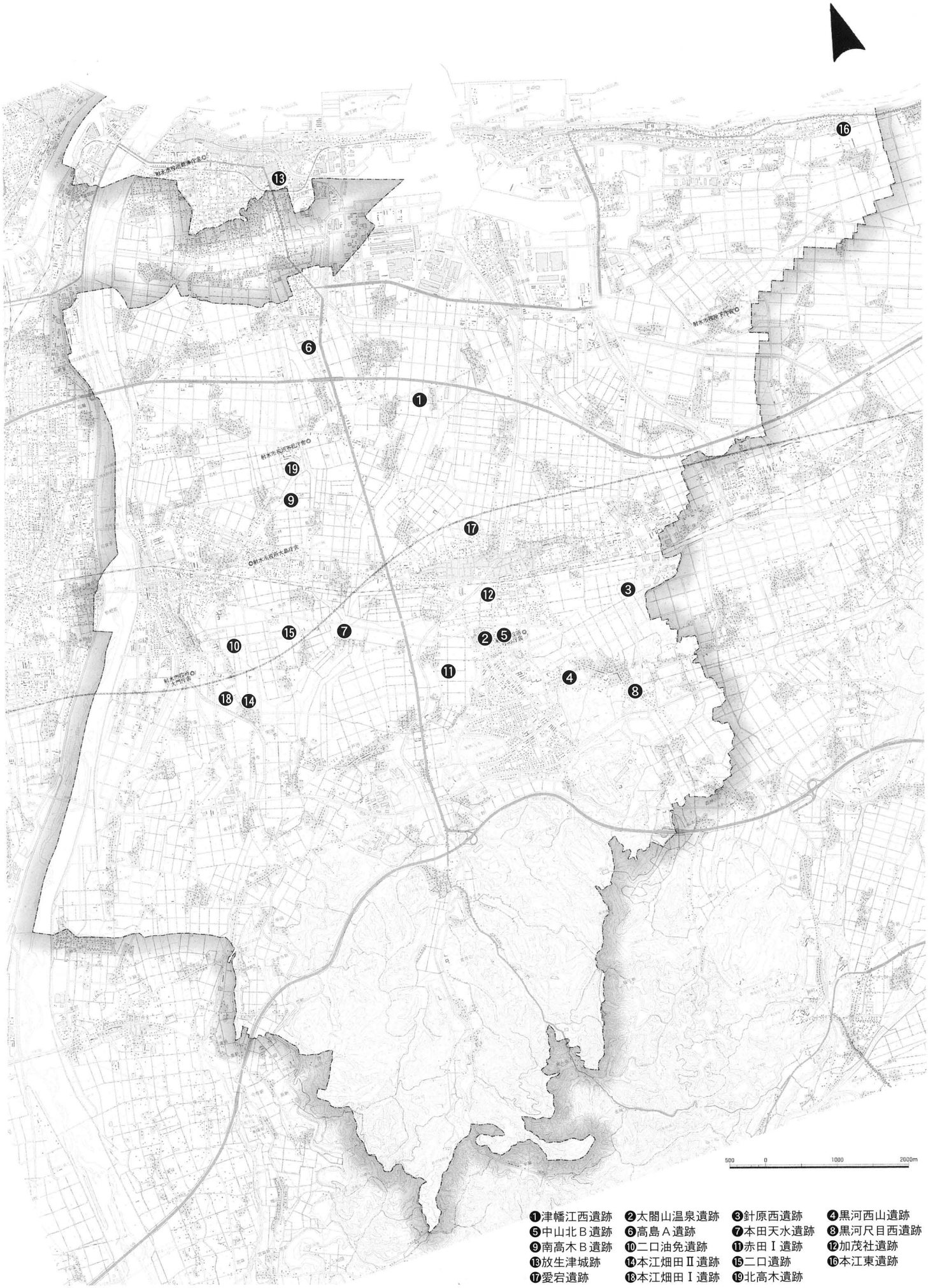
2．平成18年度埋蔵文化財発掘調査一覧

試掘調査

No.	遺跡名	所在地	原因	調査期間	対象面積	発掘面積	種別	検出遺構	出土遺物	開発への対応
1	高島A 211027	鏡宮193－1外	中学校 用地造成	H18.5.8～5.10	10,026㎡	442㎡	散布地 集落	溝・土坑 自然河道	弥生土器（中期）・古代須恵器	1,700㎡の本発掘調査必要
2	本田天水 211406	本田字天水 254－3外	宅地造成	H18.5.23	644㎡	51㎡	散布地		中世珠洲	支障なし
3	黒河尺目西 211128	黒河字尺目 2697－1外	個人専用 住宅建築	H18.6.30	373㎡	31㎡	集落			支障なし
4	南高木B 211457	小林20－1	資材置場造成	H18.7.6	904㎡	46㎡	散布地	溝		支障なし
5	二口油免 211403	二口字油免 438－1外	歯科医院建設	H18.7.13	557㎡	61㎡	集落 古墳	溝・土坑	古墳土師器・石製品	計画変更により現状保存
6	赤田Ⅰ 211361	橋下条850－1外	高齢者介護 施設建設	H18.9.6	1,356㎡	128㎡	散布地 集落	溝・土坑	弥生土器・古墳土師器・中世珠洲	支障なし
7	加茂社 211088	戸破神川3943	参集殿・山車 収蔵庫建設	H18.10.11	250㎡	42㎡	散布地 集落	導水管	古代土師器・古代須恵器 古代鉄滓・近世越中瀬戸・近代瓦	史跡神事馬場跡は現状変更
8	放生津城跡 211006	中新湊16－25	個人専用 住宅建築	H18.10.12	120㎡	12㎡	城跡		近代ガラスビン・近代瓦	支障なし
9	布目沢Ⅱ 211420	串田338外	ほ場整備	H18.10.23～11.8	144,580㎡	2,678㎡	集落	溝・土坑	弥生土器・弥生打製石斧 古代須恵器・中世珠洲・中世青磁 中世土師器・中世石臼・近世唐津 近世越中瀬戸・近世伊万里	工法によっては本発掘調査必要
10	本村 211417	串田933外	ほ場整備	H18.10.23～11.8	19,940㎡	366㎡	散布地	溝・土坑 井戸	中世珠洲・中世土師器 中世青磁・中世砥石	工法によっては本発掘調査必要
11	本江畑田Ⅱ 211412	大門本江456外	農機具格 納庫建設	H18.11.8	496㎡	25㎡	散布地	溝	古墳土師器	支障なし
12	二口 211402	安吉字昭和 284－1外	個人専用 住宅建築	H18.11.9	595㎡	21㎡	散布地	溝	不明土師器	支障なし
13	本江東 211054	かもめ台3外	個人専用 住宅建築	H18.11.27	386㎡	15㎡	散布地		古代土師器	支障なし
14	愛宕 211063	三ヶ608－1外	短期大学 施設建築	H19.3.29	1,835㎡	66㎡	散布地		古墳土師器・中世土師器 近世磁器	支障なし
計	14遺跡14件		対象面積　182,062㎡　　発掘面積　3,984㎡							

本発掘調査

No.	遺跡名	所在地	原因	調査期間	発掘面積	種別	検出遺構	出土遺物
1	赤田Ⅰ 211361	一条12番16	個人専用 住宅建築	H18.7.4～8.1	113㎡	集落 祭祀	古代土坑・不明土坑	古代須恵器・古代木製祭祀具・近世銅銭
2		一条12番4		H18.7.5～8.8	106㎡			古代土師器・古代須恵器・古代緑釉陶器
3		一条12番1		H18.8.8～8.29	128㎡		古代溝・不明土坑	不明木製品
4		一条11番6		H18.8.29～9.15	104㎡		古代溝	古代土師器・古代須恵器・近世陶磁器
5		一条10番14		H18.9.15～10.6	129㎡		古代溝・古代土坑	古代土師器・古代須恵器・古代木製品・近世陶磁器
6		一条10番5		H18.11.9～12.7	106㎡		古代溝	古墳土師器・古代土師器・古代須恵器・古代鉄滓 古代木製祭祀具
7	本江畑田Ⅰ 211411	あおば台1－15	個人専用 住宅建築	H18.6.13～6.27	75㎡	集落	弥生溝・弥生土坑 古代溝	弥生土器・弥生管玉未成品・弥生鉄石英剥片 弥生緑色凝灰岩剥片・古代須恵器・古代鉄滓
8		あおば台1－18		H18.6.14～6.30	58㎡		古代井戸・不明溝 不明土坑	弥生土器・古代土師器・古代須恵器
9		あおば台1－8		H18.8.22～9.12	66㎡		弥生溝・弥生土坑 弥生周溝式掘立柱建物	弥生土器
10		あおば台1－9		H18.8.23～9.20	67㎡		弥生溝・弥生井戸 古代溝	弥生土器・古代須恵器・中世珠洲・中世青磁
11		あおば台1－14		H18.10.16～11.8	106㎡		弥生溝・弥生土坑	弥生土器・弥生勾玉・弥生管玉未成品 弥生ガラス小玉・弥生緑色凝灰岩剥片 弥生鉄石英剥片・弥生石英剥片
12	北高木 211433	北高木471外	企業団地造成	H18.5.1～6.16	420㎡	集落 祭祀	古代溝・古代土坑	古代土師器・古代須恵器・古代木製祭祀具
13	高島A 211027	鏡宮236－1外	中学校 用地造成	H18.7.10～9.16	1,737㎡	散布地 集落	弥生溝・弥生土坑・弥生柱穴・弥生平地式建物	弥生土器・弥生磨製石斧・弥生石包丁・弥生石鏃 弥生玉未成品
14	太閤山温泉 211091	黒河二十石 5414－1外	温泉保養 施設建設	H18.8.21～9.28	1,160㎡	古墳	弥生土坑・中世溝	弥生土器・弥生磨製石斧・古代須恵器・中世珠洲 近世銅銭
15	針原西 211090	黒河40－2外	県道建設	H18.10.23～12.20	2,570㎡	散布地	弥生溝・弥生土坑・古墳溝 古墳土坑・中世溝	弥生土器・弥生勾玉・古墳土師器・古代須恵器 中世珠洲・近世陶磁器・近世銅銭
計	6遺跡15件		発掘面積　6,945㎡					

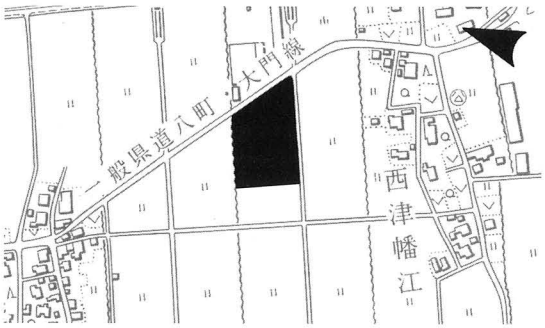


❶津幡江西遺跡　❷太閤山温泉遺跡　❸針原西遺跡　❹黒河西山遺跡
❺中山北Ｂ遺跡　❻高島Ａ遺跡　❼本田天水遺跡　❽黒河尺目西遺跡
❾南高木Ｂ遺跡　❿二口油免遺跡　⓫赤田Ⅰ遺跡　⓬加茂社遺跡
⓭放生津城跡　⓮本江畑田Ⅱ遺跡　⓯二口遺跡　⓰本江東遺跡
⓱愛宕遺跡　⓲本江畑田Ⅰ遺跡　⓳北高木遺跡

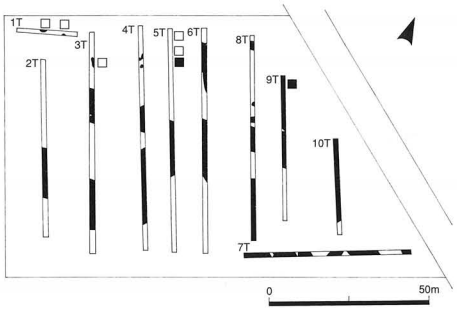
調査位置図

3．試掘調査概要

1．津幡江西遺跡



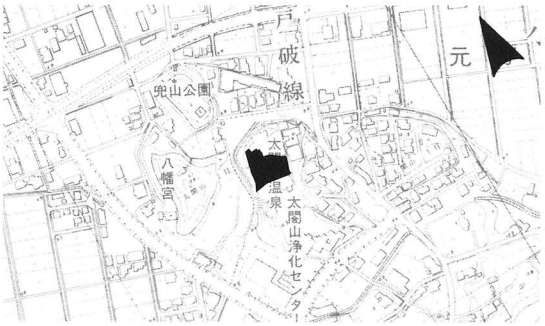
所　在　地　射水市殿村425番地外
調査期間　平成17年９月26日～平成17年９月28日
調査面積　対象面積：9,000㎡　発掘面積：634㎡
調査原因　駐車場造成
調査担当者　金三津英則
検出遺構　弥生時代：土坑６基
　　時期不明：溝４条・自然流路４条
出土遺物　弥生土器・中世珠洲
調査概要　調査対象地は、標高約１ｍの沖積低地に位置する。対象地のほぼ全域が旧大坪川やその支流と考えられる、縦横に走る河川流路で占められている。南西の一部において不整形の土坑を６基検出したが、遺構確認面が水田耕土直下に位置するため、削平によって遺構の大部分が失われている。遺構内やその周辺から、弥生時代後期のものと思われる土器片が出土した。



トレンチ配置図

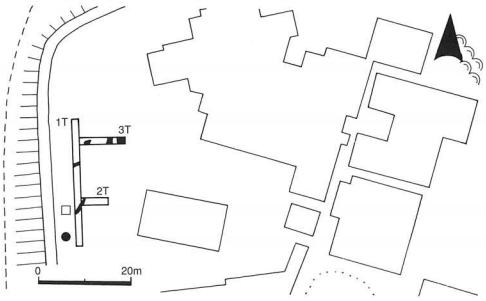
７Ｔ遺構検出状況

2．太閤山温泉遺跡

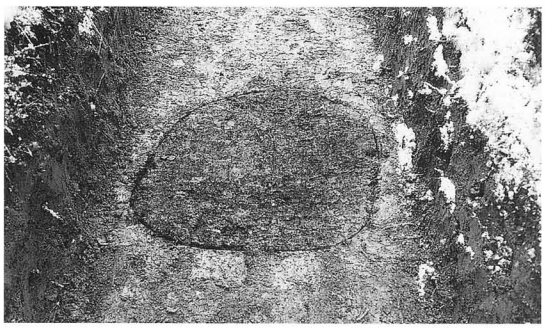


所　在　地　射水市黒河二十石5424番地
調査期間　平成17年12月16日～平成17年12月27日
調査面積　対象面積：11,913.7㎡　発掘面積：66.4㎡
調査原因　温泉保養施設建設
調査担当者　原田義範
検出遺構　弥生時代：溝４条・土坑１基
出土遺物　縄文土器・弥生土器

調査概要　対象地は射水丘陵北端の標高15.5ｍに位置する。土層は上から１層が明黄褐色（2.5Y6/6）の盛土、２層が暗灰黄色（2.5Y4/2）の旧地形自然堆積土、３層が明黄褐色（2.5Y7/6）の地山である。１Ｔから検出した南北溝から、弥生土器が出土している。このため遺構に影響が及ぶ掘削工事を行う場合は、本発掘調査による記録保存（約1,500㎡）が必要であると判断した。

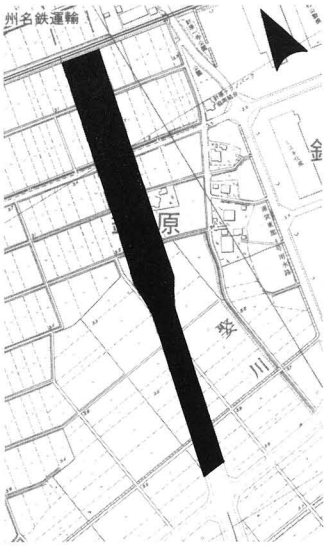


トレンチ配置図

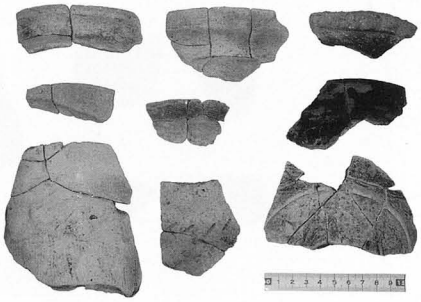

３Ｔ遺構検出状況

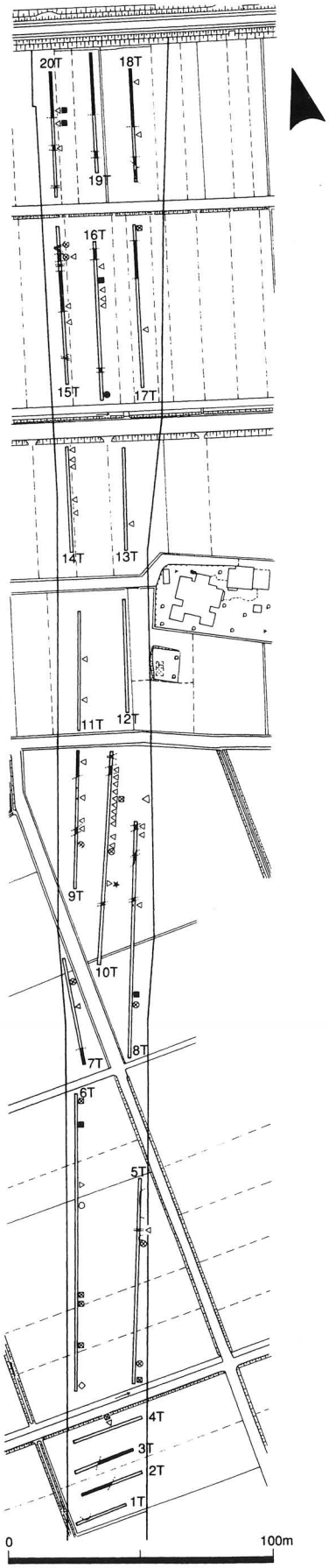
３．針原西遺跡

所　在　地　射水市戸破字明神509番地外
調査期間　平成18年３月９日～平成18年３月16日
調査面積　対象面積：22,000㎡　発掘面積：1,060㎡
調査原因　主要地方道小杉婦中線整備事業
調査担当者　原田義範・田中　明・金三津英則
検出遺構　弥生時代：溝８条・土坑３基
時期不明：溝20条・土坑５基
出土遺物　縄文土器・弥生土器・古墳土師器・古代須恵器
古代鉄滓・中世珠洲・中世青磁・中世土師器
近世越中瀬戸・近世伊万里・近世銅銭
調査概要　対象地は標高2.8～3.4mに位置する。土層は上から１層が耕作土、２層が褐灰色（10YR5/1）の遺物包含層、３層が灰白色（10YR7/1）の地山である。遺物は縄文時代～江戸時代と多種に至るが、遺構外出土が殆どである。８～10Tに検出した溝や土坑から、器形のわかる弥生時代終末期～古墳時代初頭の土器が出土。このため遺構に影響が及ぶ工事を行う場合は、本発掘調査による記録保存（2,570㎡）が必要であると判断した。



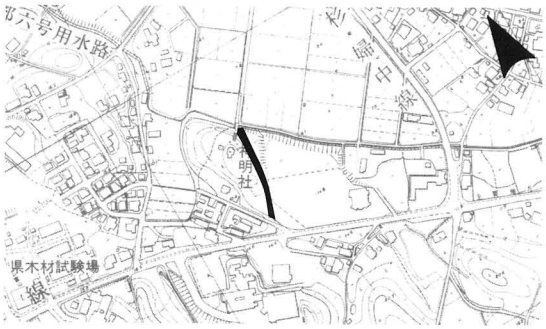
調査風景


出土遺物



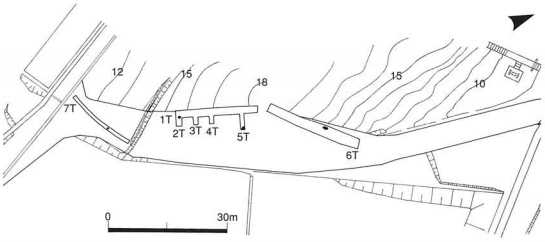
トレンチ配置図

4．黒河西山遺跡



所　在　地　射水市黒河新4792番地外
調査期間　平成17年８月１日～平成18年３月27日
調査面積　対象面積：1,100㎡　発掘面積：153.8㎡
調査原因　市道建設
調査担当者　原田義範・田中　明
検出遺構　時期不明：土坑１基・焼壁土坑２基
出土遺物　なし

調査概要　対象地は山林及び竹林で標高12.5～18.2mに位置する。土層は上から１層が灰黄褐色（10YR4/2）の表土、２層が黄褐色（2.5Y5/6）の地山である。1・７Ｔから焼壁土坑が検出されたが、遺物の出土はない。過年度の周辺調査では、炭焼窯や須恵器窯跡などの遺構や８世紀後半の遺物が出土し、古代生産遺跡（製鉄・窯業）として周知されていたが、その広がりは見られなかった。



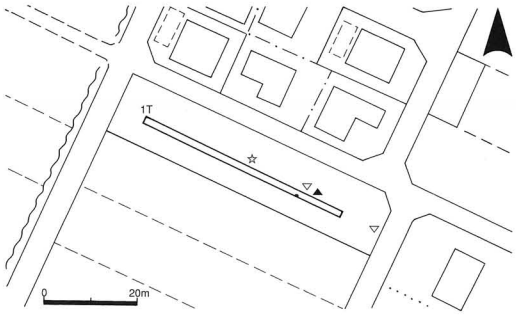
トレンチ配置図

７Ｔ掘削状況

5．中山北Ｂ遺跡

所　在　地　射水市戸破字加茂1585－1番地
調査期間　平成18年３月30日
調査面積　対象面積：780㎡　発掘面積：36.8㎡
調査原因　宅地造成
調査担当者　田中　明・金三津英則
検出遺構　時期不明：土坑１基
出土遺物　古代土師器・古代須恵器・近代小杉焼

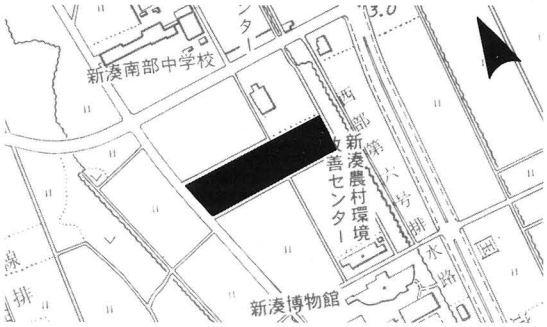
調査概要　対象地は丘陵裾部の標高５ｍに位置する。土層は上から１層が灰オリーブ色（5Y5/2）の耕作土、２層がオリーブ黒色（5Y3/1）土、３層が灰白色（5Y7/1）の地山である。２層はトレンチ西端にのみ確認された。遺物は全て耕作土より出土している。地表面から地山まで約20cmと浅く、区画整理の際に削平されたものと考えられ、遺跡の広がりは見られなかった。



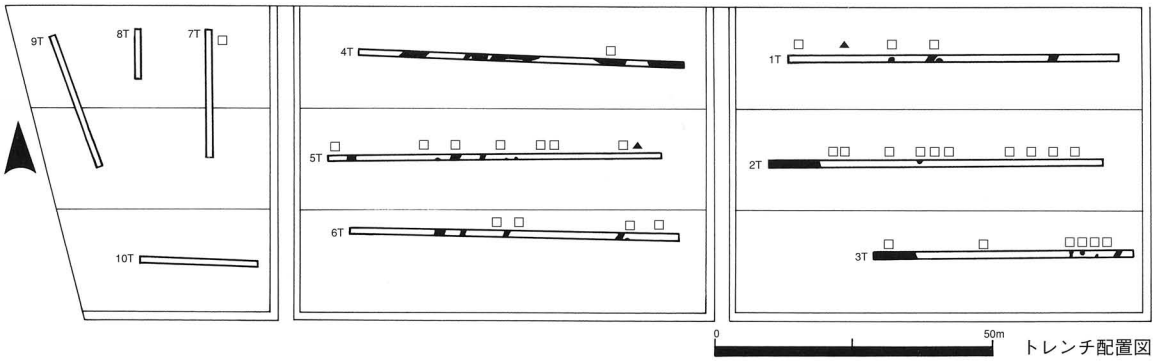
トレンチ配置図

出土遺物

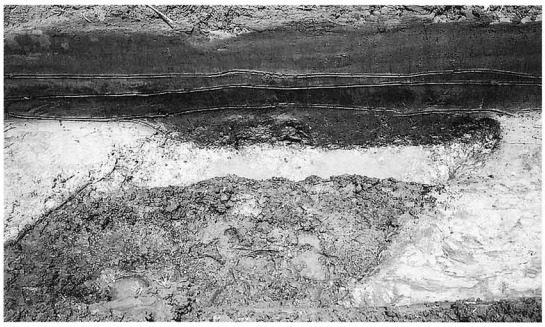
6．高島A遺跡

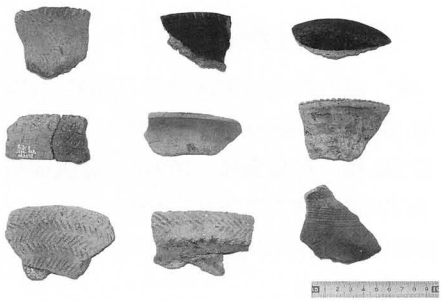


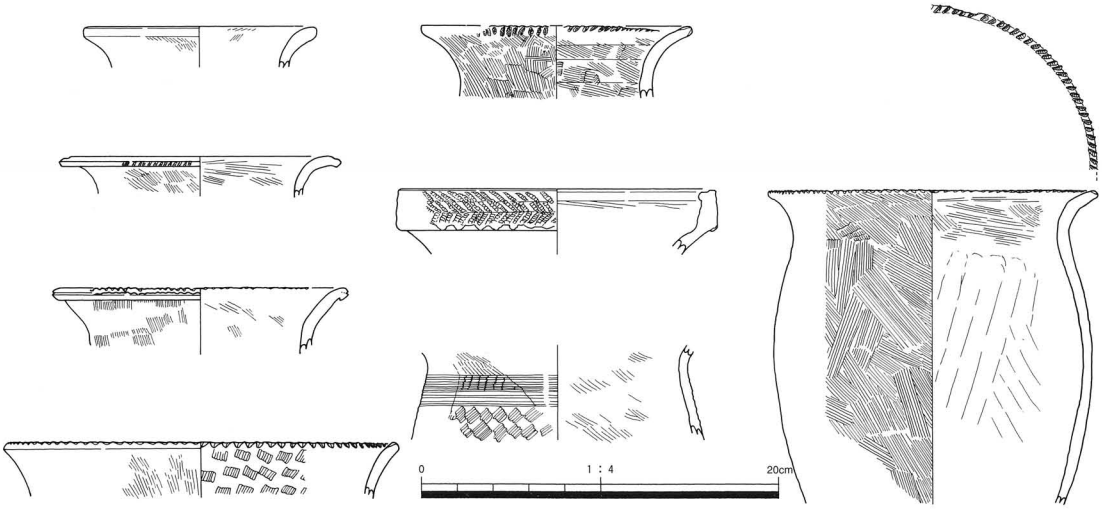
所　在　地　射水市鏡宮193－1番地外
調査期間　平成18年５月８日～平成18年５月10日
調査面積　対象面積：10,026㎡　発掘面積：442㎡
調査原因　中学校用地造成
調査担当者　原田義範・田中　明・金三津英則
検出遺構　弥生時代中期：溝13条・土坑12基
自然河道１条
出土遺物　弥生土器（中期）・古代須恵器
調査概要　調査対象地は標高約1.8mの沖積平野に位置する。対象地の中央には南東～北西方向の河川跡が存在し、西端部では地山が深く落ち込み低湿地状の地形となる。河川の東西には弥生時代の遺構が散在し、調査対象地の北側を中心として弥生土器が出土している。出土遺物はほぼ弥生時代中期の土器で占められ、遺構は弥生時代中期の限られた期間に形成されたものと考えられる。



トレンチ配置図


１Ｔ遺構検出状況

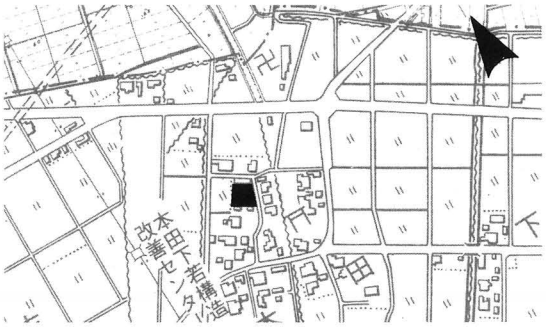

出土遺物



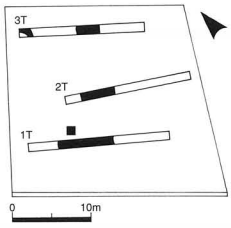
遺物実測図

7．本田天水遺跡

所　在　地　射水市本田字天水254－3番地外
調査期間　平成18年５月23日
調査面積　対象面積：644㎡　発掘面積：51㎡
調査原因　宅地造成
調査担当者　原田義範・金三津英則
検出遺構　なし
出土遺物　中世珠洲



調査概要　調査対象地は、標高約７ｍの本田集落内に位置する。土層は上から１層が造成盛土、２層が浅黄色（2.5Y7/3）の粘質土、３層がにぶい黄橙色（10YR7/2）の地山である。２層中には造成盛土・砕石・地山の土が混在し、後世の開発の影響が地山面に及んでいる。１Ｔの中央部付近で珠洲焼の破片が1点出土しているが、当該期の遺構の広がりは確認できなかった。



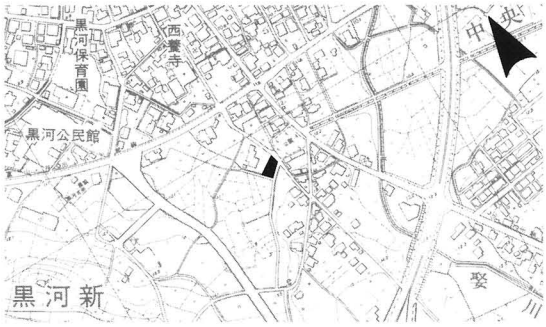
トレンチ配置図

出土遺物

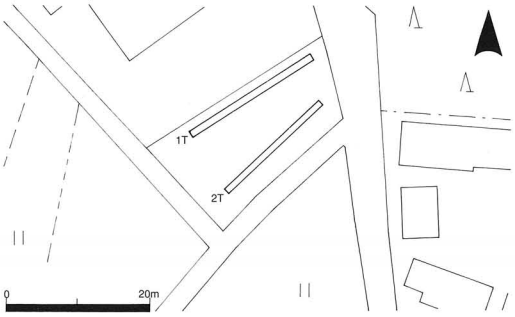
１Ｔ掘削状況

8．黒河尺目西遺跡

所　在　地　射水市黒河字尺目2697－1番地外
調査期間　平成18年６月30日
調査面積　対象面積：373㎡　発掘面積：31㎡
調査原因　個人専用住宅建築
調査担当者　原田義範
検出遺構　なし
出土遺物　なし



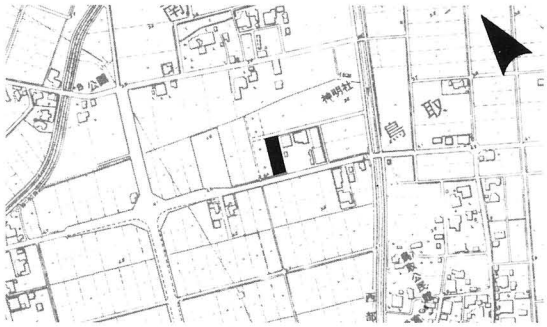
調査概要　対象地は舌状に延びる丘陵部と平野部が接する台地状に位置し、標高11.5ｍを測る。土層は上から１層が黄灰色（2.5Y4/1）の耕作土、２層が黒褐色（2.5Y3/1）土、３層が灰黄色（2.5Y7/2）の地山である。遺構確認は３層上面で行った。遺構や遺物が全く確認されなかったことから、遺跡の広がりは見られなかった。



トレンチ配置図

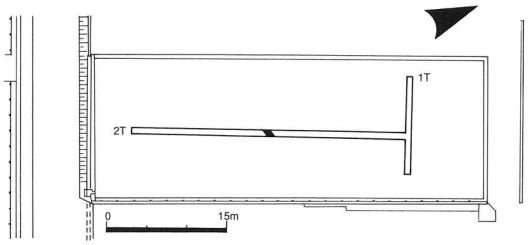
１Ｔ掘削状況

9．南高木Ｂ遺跡



所　在　地　射水市小林20－1番地
調査期間　平成18年７月６日
調査面積　対象面積：904㎡　発掘面積：46㎡
調査原因　資材置場造成
調査担当者　田中　明
検出遺構　時期不明：溝１条
出土遺物　なし

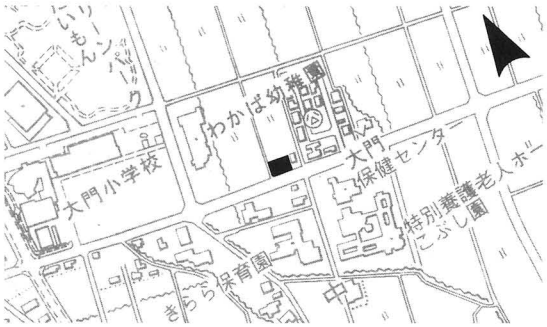
調査概要　対象地は神楽川左岸域の標高９ｍに位置する。土層は上から１層が暗灰黄色（2.5Y4/2）の耕作土、２層が黄灰色（2.5Y4/1）土、３層が明オリーブ灰色（5GY7/1）の地山である。遺構確認は３層上面で行った。1Ｔで検出した溝からは、遺物が出土しなかったため時期不明とした。遺物を包含する土層や遺構が確認されなかったため、遺跡の広がりは見られなかった。



トレンチ配置図

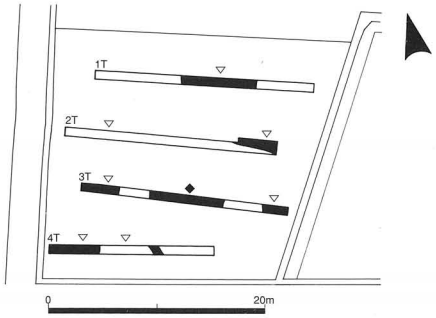
対象地全景

10．二口油免遺跡

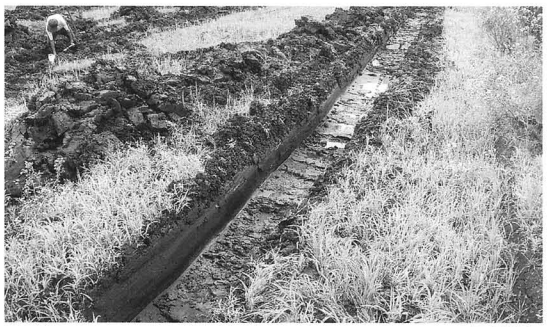


所　在　地　射水市二口字油免438－1番地外
調査期間　平成18年７月13日
調査面積　対象面積：557㎡　発掘面積：61㎡
調査原因　歯科医院建設
調査担当者　原田義範・金三津英則
検出遺構　古墳時代前期：溝１条・土坑４基
出土遺物　古墳土師器（前期）・古墳石製品（前期）

調査概要　調査対象地は標高約7.7ｍの沖積平野に位置する。対象地のほぼ全域で、大型の浅い土坑を検出した。遺構からは古墳時代前期の土器等が出土している。北側隣接地で平成８・９年度に行われた調査では、古墳時代前期の方墳を含む集落跡が確認されており、今回の調査対象地はその縁辺部にあたる。土坑は、自然地形を利用した遺物の廃棄場としての性格が想定できる。

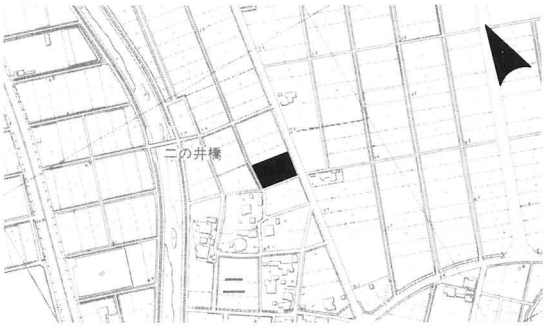


トレンチ配置図



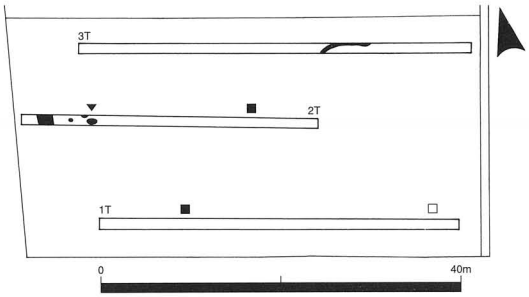
４Ｔ掘削状況

11. 赤田Ⅰ遺跡



所　在　地　射水市橋下条850－1番地外
調査期間　平成18年９月６日
調査面積　対象面積：1,356㎡　発掘面積：128㎡
調査原因　高齢者介護施設建設
調査担当者　原田義範・金三津英則
検出遺構　時期不明：溝２条・土坑３基
出土遺物　弥生土器・古墳土師器・中世珠洲

調査概要　調査対象地は下条川の右岸、標高約7.5mの沖積平野に位置する。対象地の中央部では地山が深く落ち込み、腐植物を含む黒褐色粘土が堆積することから、低湿地が広がっていたと考えられる。遺構は、２Ｔの西端部及び３Ｔ東部で時期不明の溝・土坑を検出した。遺物は１・２Ｔで弥生～古墳時代の土器片・珠洲破片が出土しているが、いずれも遺構に伴うものではない。



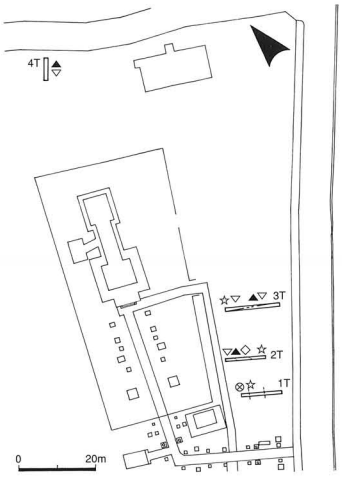
トレンチ配置図

１Ｔ掘削状況

12. 加茂社遺跡

所　在　地　射水市戸破神川3943番地
調査期間　平成18年10月11日
調査面積　対象面積：250㎡　発掘面積：42㎡
調査原因　参集殿・山車収蔵庫建設
調査担当者　原田義範・田中　明・金三津英則
検出遺構　現代：導水管１条
出土遺物　古代土師器・古代須恵器・古代鉄滓
近世越中瀬戸・近代瓦

調査概要　対象地は埋蔵文化財包蔵地の周知の加茂社遺跡及び市指定史跡神事馬場跡であり、その遺存状況・内容範囲等を確認し、遺跡と史跡の保護と工事計画の調整を図る目的で調査を実施した。境内地は標高5.1mに位置する。馬場跡に設定したトレンチの土層は上から１層が灰黄色（2.5Y7/2）の山砂搬入土、２層が明緑灰色（10G7/1）盛土、３層が灰色（5Y4/1）土、４層が灰白色（5Y7/2）の地山である。遺構確認は馬場跡が３層上面、遺跡が４層上面で行った。断面観察からは馬場跡と見られるしまりのある堆積土・遺構も確認されなかった。遺物は大半が３層下方から出土。神事馬場跡全域を調査することはできなかったが、対象地における工事を許可し、現状変更の取り扱いとした。



トレンチ配置図

13. 放生津城跡

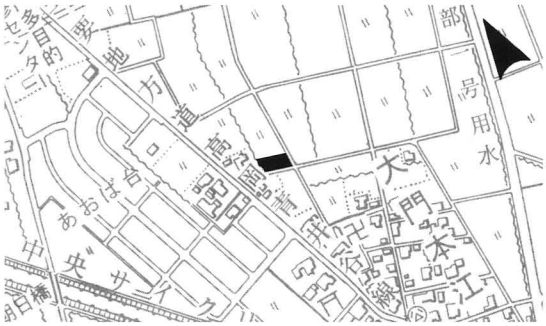
所 在 地　射水市中新湊16－25番地
調査期間　平成18年10月12日
調査面積　対象面積：120㎡　発掘面積：12㎡
調査原因　個人専用住宅建築
調査担当者　原田義範・稲垣尚美・金三津英則
検出遺構　なし
出土遺物　近代ガラスビン・近代瓦

調査概要　調査対象地は内川の左岸、標高約1.2mの沖積平野に位置する。宅地整地土の下には砂層が厚く堆積し、地表下約1.5m地点で黒褐色の粘土層を確認したが、激しい湧水のため以下の掘削を断念した。調査対象地は放生津城本丸推定地の約50m西方にあたり、小字「二ノ丸後割」に含まれることから、放生津城二の丸の南あるいは西堀部分に位置するものと考えられる。

放生津城跡周辺推定復元図

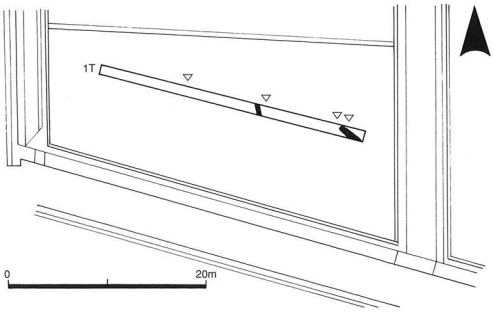
1Ｔ掘削状況

14. 本江畑田Ⅱ遺跡

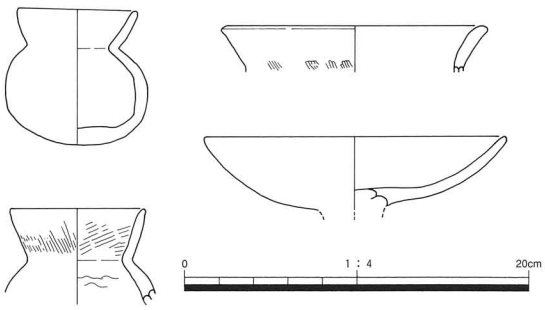


所 在 地　射水市大門本江456番地外
調査期間　平成18年11月８日
調査面積　対象面積：496㎡　発掘面積：25㎡
調査原因　農機具格納庫建設
調査担当者　原田義範・金三津英則
検出遺構　古墳時代前期：溝１条
　　時期不明：溝１条
出土遺物　古墳土師器（前期）

調査概要　調査対象地は標高約9.5mの沖積平野に位置する。試掘トレンチの東部で溝を２条検出した。このうち、トレンチ東端部の溝は、幅約65㎝、深さ約20㎝を測り、トレンチ北壁付近で途切れている。遺構内から、古墳時代前期の土器がまとまって出土した。



トレンチ配置図

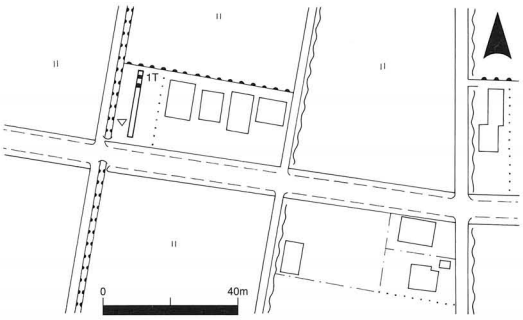


遺物実測図

15. 二口遺跡

所　在　地　射水市安吉字昭和284－1番地外
調 査 期 間　平成18年11月９日
調 査 面 積　対象面積：595㎡　発掘面積：21㎡
調 査 原 因　個人専用住宅建築
調査担当者　金三津英則
検 出 遺 構　時期不明：溝２条
出 土 遺 物　土師器（時期不明）

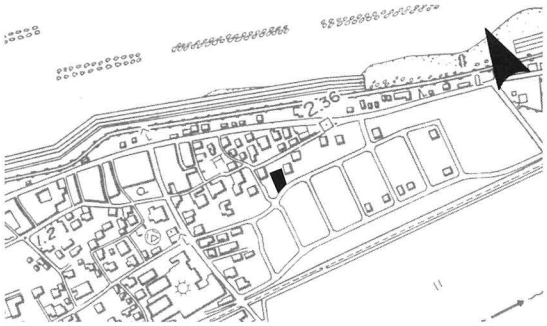
調 査 概 要　調査対象地は標高約7.8mの沖積平野に位置する。土層は上から１層が造成盛土、２層が暗オリーブ褐色（2.5Y3/3）の旧水田耕作土、３層が黒褐色（2.5Y3/1）粘土、４層が黄灰色（2.5Y6/1）の地山である。試掘トレンチの北部で２条の溝状遺構を検出したが、遺物等は出土せず時期は不明である。３層中から土師器が数点出土しているが、細片となっているため帰属時期は明確ではない。



トレンチ配置図

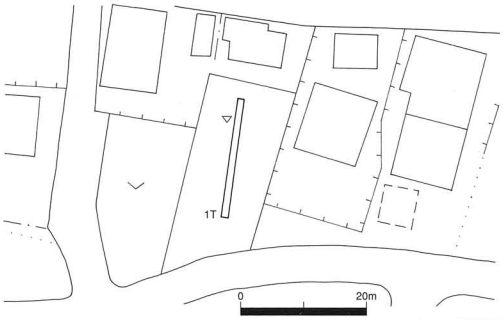
１Ｔ掘削状況

16. 本江東遺跡



所　在　地　射水市かもめ台３番地外
調 査 期 間　平成18年11月27日
調 査 面 積　対象面積：386㎡　発掘面積：15㎡
調 査 原 因　個人専用住宅建築
調査担当者　原田義範・金三津英則
検 出 遺 構　なし
出 土 遺 物　古代土師器

調 査 概 要　調査対象地は標高約1.4mの沖積平野に位置する。土層は上から１層がにぶい黄色（2.5Y6/3）の造成盛土、２層が黄灰色（2.5Y4/1）の旧水田耕作土、３層が灰色（5Y4/1）粗砂、４層が黒褐色（2.5Y3/1）粘土、５層が灰黄色（2.5Y6/1）の地山である。４層中から古代の土師器片が１点出土しているが、当該期の遺構の広がりは確認できなかった。



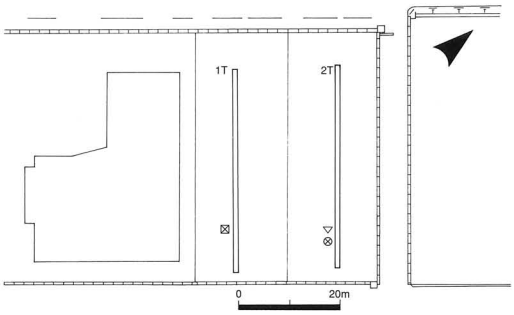
トレンチ配置図

１Ｔ掘削状況

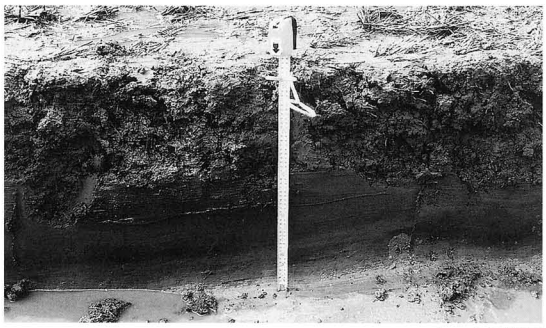
17. 愛宕遺跡

所 在 地　射水市三ヶ608－1番地外
調査期間　平成19年３月29日
調査面積　対象面積：1,835㎡　発掘面積：66㎡
調査原因　短期大学施設建設
調査担当者　原田義範・田中　明
検出遺構　なし
出土遺物　古墳土師器・中世土師器・近世磁器

調査概要　対象地は標高3.2mに位置する。土層は上から１層が暗灰黄色（2.5Y4/2）の耕作土、２層が褐灰色（10YR4/1）土、３層が浅黄色（2.5Y7/3）の地山である。遺構確認は３層上面で行った。遺物は全て１層の耕作土より出土し、流れ込みと考えられる。今回の調査では、遺物を包含する土層や遺構が確認されなかったため、遺跡の広がりは見られなかった。



トレンチ配置図


１Ｔ土層断面

射水市内遺跡発掘調査一覧
― 平成17・18年度 ―

2008(平成20)年３月31日　発行
編集・発行　射水市教育委員会
〒933-0292
富山県射水市加茂中部893番地
TEL 0766-59-8092
印　　刷　株式会社タニグチ印刷

射水市内遺跡発掘調査一覧

―平成十七・十八年度―

二〇〇八年　富山県射水市教育委員会